■安井息軒　　儒学者。ペリー来航に「海防私議」など，儒学の立場から意見し，昌平黌儒官に異例の抜擢。
やすいそっけん
蝦夷地直轄始1799＝　　日向国宮崎郡清武村で，_飫肥藩譜代の家臣で藩儒となった安井槍洲の次男に生まれる。

ﾚｻﾞﾉﾌ来航・ 1804＝ 5歳：この年，父が江戸勤番に出，

ﾚｻﾞﾉﾌ報復・ 1806＝ 7歳：この年，帰藩。

ﾌｪｰﾄﾝ号事件 1808＝ 9歳：

_幼少より，父の薫陶を受けて荻生徂徠の古学を修め，

高田屋拿捕・1812＝13歳：この頃，常に懐中に経書をもって，家業を手伝うなど，読書を怠らず，

黒住教・・・1814＝15歳：この年には，家の書を読み尽くし，

杉田玄白没・1817＝18歳：_和学を止め，寺に入って漢学に専念，
水野忠成老中1818＝19歳：

・・・・・・1820＝21歳：_都於郡を訪れて紀行文「志濃武草」を書いた後，大坂に遊学し，蔵書家篠崎小竹に入門するも，
伊能図完成・1821＝22歳：_兄が死去したため帰郷。父の仕事を助けるが，

ｼｰﾎﾞﾙﾄ鳴滝塾1824＝25歳：_江戸に出て，古賀伺庵につき，ついで昌平黌に入ったものの，身体が小さく，顔に痘痕が多く，加うるに時流になじまず，専ら徂徠派の漢註唐疏を主としたので，同門の学徒に軽侮され，
・・・・・・1826＝27歳：_古賀塾を退くと，江戸藩邸勤番を命じられ，飫肥藩主の侍読を兼ね，傍ら松崎慊堂の門に入り，塩谷宕陰らと共に切磋琢磨して研究を積む。
日本外史・・1827＝28歳：_藩主に従って帰藩。父が許可を得て清武に郷校{明教堂}を設けると，帰郷し助教として父を助ける。
ｼｰﾎﾞﾙﾄ事件・1828＝29歳：
ｼｰﾎﾞﾙﾄ追放・1829＝30歳：双石山に登り，紀行文「南山霞標」を書く。この年，宕陰が「明教堂記」をつくる。
富嶽三十六景1831＝32歳：_藩校{振徳堂}が設立されると，父が総裁兼教授となり，その助教となって飫肥に移住。藩命で，風教政治視察すべく九州を巡覧し，「観風抄」を撰述して藩主に呈する。
鼠小僧磔・・1832＝34歳：_侍読として藩主に従い出府，
天保大飢饉始1833＝35歳：_帰藩。藩政について宿老たちと意見が合わず，面白くない日々を送るうち，
滑稽+人情本 1835＝36歳：_父が死去すると，
・・・・・・1836＝37歳：*官を辞し，浪人儒者として江戸に行き，「東行日抄」を書いた後，
大塩平八郎乱1837＝38歳：再び昌平黌に入るが，学政が乱れていたため，増上寺の中の僧寮に泊まって書を読む。
適塾ｵｰﾌﾟﾝ・ 1838＝39歳：_一旦帰藩後，妻子を携えての江戸移住も許され，一流学者らと交流，
千駄谷に住むが火災にあい，その後何度か移住。その家は，どれも狭く且つ汚かったが意に介さず，

天保改革始・1841＝42歳：_麹町上二番町に旗本屋敷を借りて{三計塾}を開く。眼疾を患って，読書不自由となり，仙台松島旅行を楽しむ。藤田東湖と初対面。
順天堂始・・1843＝44歳：_飫肥藩邸で「論語」の会読を開始し，
天保改革終・1844＝45歳：*藩主に「管子」の質疑に答え，月3回の定例となる。
阿部正弘首座1845＝46歳：この年，アメリカ船が浦賀に来航，
孝明天皇・・1846＝47歳：続いて，ビッドル率いる軍艦も来航すると，浦賀まで赴いて状況視察。文会が盛んになり，社約をつくって各人の自宅を回り，会長となる。

北斎没・・・1849＝50歳：上州の蚕業を視察し，飫肥で養蚕製糸の講習を始める。

万次郎帰国・1852＝53歳：_飫肥・清武に種痘を施行するよう働きかける。「素堂記」を書く。
ペリー来航・1853＝54歳：_<ペリー来航>に際し，藤田東湖を介して水戸藩主徳川斉昭から時事を問われて，「海防私議」を著し，
開国開港・・1854＝55歳：_「蝦夷論」を書いて，開発の必要性を訴える。

桜田門外変・1860＝61歳：
遣欧使節・・1861＝62歳：用人格を免じられ，
生麦事件・・1862＝63歳：この年，妻が死去。*幕府の召命で将軍に謁し，昌平黌儒官に抜擢される。代々林大学頭が学政を掌り，専ら朱註を用いていたなかで，古注学ともいうべき立場からは全く異例。
8月18日政変 1863＝64歳：長男も死去するなど，不幸も重なり，
禁門の変・・1864＝65歳：*奥州塙代官を命ぜられたが，辞して行かず，依願免小普請人となる。
薩摩藩士密航1865＝66歳：「養蚕私録序」を書く。

明治維新・・1868＝69歳：明治維新後，
戊辰戦争終・1869＝70歳：_新政府からの出仕勧誘にも，病を理由に辞し，飯肥藩主の配慮で臣籍に入り，家老上席・師範となって，彦根藩主への講義や飫肥藩世子・門弟への教育に尽力，
廃藩置県・・1871＝72歳：土手三番町に移住。
学問のすすめ1872＝73歳：「論語集説」全刻ができあがる。

初の民間工場1875＝76歳：熊本県知事の依嘱で，「錦山神祠改建記」を書く。
三つの反乱・1876＝77歳：_没した。
翌年{三計塾}は閉鎖となる。「大学説」「中庸説」「孟子定本」「管子纂古」「左伝輯釈」など多くの経書子史に関するもののほか，海防書もほかにもあり，またキリスト教・共和政批判を展開した。「弁妄」も注目される。文集も広く読まれた。「毛詩輯疏」「書説摘要」「上明山公書」「睡余漫筆」。

「人づくり風土記(宮崎)」，「没年日本史人物事典」，平凡社百科事典，